

## E

## 環境活動の目標と実績

**基本的な考え方** 持続的に企業価値を向上させていくため、環境課題を明確にし、それぞれの課題について具体的な目標を定め環境改善活動に取り組んでいます。目標の達成状況を定期的に把握・評価し、対策へ反映させることにより、継続的な改善を図っています。

## 2020年度の目標・実績

2020年度は「エコチャレンジ020」の最終年度であり、実績は以下のとおりとなりました。

テーマと 関連するSDGs	項目	2020年度			
		目標※1	実績	評価	関連 ページ
<b>地球温暖化対策</b> 	生産部門のCO <sub>2</sub> 排出量※2 (1990年度比)	24%削減	<input checked="" type="checkbox"/> 28.2%削減	○	P.29
	物流部門のCO <sub>2</sub> 排出原単位※3 (2007年度比)	14%削減	15.9%削減	○	
<b>資源の有効利用</b> 	古紙利用率	97%以上	98.6%	○	P.31
<b>廃棄物の削減</b> 	最終処分量※4	4,000t以下	2,719t	○	P.33
	再資源化率	98%以上	98.6%	○	
<b>化学物質の管理</b> 	PRTR対象物質排出量・移動量 (2002年度比)	14%削減	23.8%削減	○	P.34
	VOC排出量(2000年度比)	45%削減	59.8%削減	○	
<b>環境配慮型製品の 研究・開発と供給</b> 	段ボールの平均坪量 (2004年度比)	11.5%削減	12.0%削減	○	P.37

※1 目標：2020年度の実績を進めるにあたり、当初設定した目標に替えて具体的な数値目標を設定しています

※2 CO<sub>2</sub>排出量：化石エネルギー起源、使用係数は(一社)日本経済団体連合会「低炭素社会実行計画」の係数を使用  
2011年度以降の電力の係数は震災影響分を除くため2010年度の係数(発電端)を固定して使用

※3 CO<sub>2</sub>排出原単位：CO<sub>2</sub>排出量を売上高で除した値

※4 最終処分量：外部排出量から再資源化量を引いた値

## エコチャレンジ020の総括

「エコチャレンジ020」の最終年度である2020年度は、全ての項目で目標を達成しました。特に段ボールの平均坪量削減の取組みは、着実に目標を達成し軽量化を進めることができました。また、取組みの大きな柱であるCO<sub>2</sub>排出量の削減については、策定当初の目標であった1990年度比32%削減は未達成となりましたが、次期目標である「エコチャレンジ2030」で目標を再設定し、取組みを加速していきます。

今後は「エコチャレンジ2030」に基づき、持続可能な社会の実現に向けて取組みを継続していきます。



「エコチャレンジ2030」の  
詳細はこちら

→P.20